

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-288-3210
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	企画人事課
組織の目的	市民により良いサービスを提供するため、社会環境の変化に対して、組織力を最大限に発揮できる消防体制を確立するとともに、市民ニーズに的確に対応できる職員を育成します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	1	火災による被害を低減します。	・報道機関と連携し広く消防活動を広報できるよう総合的に調整	TV放映・新聞掲載による消防情報発信数(件)	103	119	135	135	157	・広報スケジュールの報道機関への提供及び消防情報誌の計画的な掲載を総合調整する。	半期ごとに消防局全体の広報スケジュールを報道機関へ提供するとともに、取材依頼に積極的に協力することで、TV放映や新聞掲載など多くの消防情報を発信し、防火意識の高揚を図りました。	達成
2		組織運営を担う幹部職員を育成します。	・令和4年度昇任者に対して研修を実施	総合的に判断	—	—	—	—	—		令和4年度昇任者に対して研修を行い、幹部職員の育成に努めました。	達成
3		職員の健康管理を推進します。	・健康管理に関する情報提供 ・健康診断での要精密検査判定者に対する二次受診の促進	健康診断での要精密検査判定者における二次受診率(%)	100	100	100	100	100		健康診断での要精密検査判定者に対し、二次受診率は100%を達成し、職員の健康管理を推進することができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>火災による被害の低減について、広く消防活動を広報できるよう消防広報スケジュールを積極的に報道機関へ提供し、消防情報を効果的に発信できるよう総合的な調整を図ります。</p> <p>組織運営を担う幹部職員の育成について、令和4年度昇任者に対する研修のほか、新任者や採用から1・3・5年が経過した職員に対する研修等を実施し、組織力の向上に貢献できる人材の育成を推進します。</p> <p>職員の健康管理の推進について、健康管理に関する情報を積極的に提供するとともに、健康診断での要精密検査判定者に対し医療機関での二次受診を促進します。</p>	<p>火災による被害を低減するため、半期ごとに消防局全体のスケジュールを報道機関へ提供するとともに、取材依頼に積極的に協力することで、TV放映や新聞掲載など多くの消防情報を発信することができました。今後も、消防活動を広報できるよう総合調整を図ります。</p> <p>令和4年度昇任者に対する研修のほか、将来の組織運営を担う若手職員への研修についても実施しました。今後も組織運営を担う職員の育成のため研修に取り組みます。</p> <p>職員の健康管理を推進するため、健康管理に関する情報を積極的に提供するとともに、健康診断での要精密検査判定者に対し医療機関での二次受診を促し、対象者全員が受診しました。今後も適時、声掛けを行いながら職員の健康管理を推進します。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-288-3220
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	限られた経営資源の活用により消防体制の充実強化を図り、市民生活の安心・安全を確保します。 また、消防活動拠点となる消防署所の計画的な整備を進めるとともに、持続可能な施設の機能維持を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目録達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		消防体制の充実強化に向けた予算編成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 次年度予算要求事務の早期着手(議論・施策判断) 消防業務の課題を踏まえた事業の推進 全事務事業の点検に基づく事務事業の見直し 新たな財源確保の検討 各事業、各署配分予算の執行状況の管理及び適正な事務手続きの徹底 	総合的に判断	—	—	—	—	—		<p>全事務事業の点検や見直しを継続的に行うことで、経常経費の削減に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止と消防業務の継続を図るため、感染防止資器材の整備を拡充し消防体制を強化しました。各事業の予算執行や進捗状況を確実に把握し、適正な事業管理を行いました。</p>	達成
2		消防活動の充実強化に向けた防火装備の機能性の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 新型防火衣の更新整備 	整備率(%)	—	—	—	51	51	<ul style="list-style-type: none"> 新型防火衣の整備を3か年で実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型防火衣の整備に係る入札事務などを計画的に進め、整備を完了しました。 令和5年2月3日 納入 	達成
3	3	消防活動拠点施設の充実強化に向けた消防署所の整備を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉消防署大規模改修事業 消防署所機能維持整備事業 	整備箇所数(箇所)	2	4	2	12	12	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉消防署大規模改修事業 R4:実施設計 R5:改修工事 消防署所機能維持整備事業 自家発電設備の蓄電池更新(10箇所) 指令管制センターの蓄電池更新 	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉消防署大規模改修事業 令和5年2月28日 実施設計完了 消防署所機能維持整備事業 令和4年7月14日 自家発電設備蓄電池更新完了 令和5年1月20日 指令管制センター蓄電池更新完了 	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>消防体制の充実強化に向けた予算編成の推進については、事務事業点検により、事業としての経緯、市民のニーズ、費用対効果等を十分に精査した中で、限られた経営資源で最大限の成果が得られる予算編成を推進します。</p> <p>消防活動の充実強化については、防火衣の安全性と機能性の向上を図り、更新計画に基づく整備を着実に進めます。</p> <p>消防活動拠点の充実強化については、災害時の消防活動拠点となる消防署所の計画的な整備を着実に進めるとともに、持続可能な施設の機能維持を図ります。</p>	<p>消防体制の充実強化に向けた予算編成の推進については、事務事業点検を継続的にを行い、事業目的や効果を精査した上で契約の見直しを図り、経営資源の最大限の活用を図りました。</p> <p>消防活動の充実強化については、安全性と機能性が向上した新型防火衣の配備に向け、入札などの事務手続きを進め、計画的に整備を行いました。次年度以降も更新計画に基づき、着実に整備を進めます。</p> <p>消防活動拠点施設の充実強化については、災害時の消防活動拠点となる消防署所の機能維持を進めたほか、新型コロナウイルス感染症への対策を強化するため、消防署所の仮眠室個室化を進め、全ての署所で個室化が完了しました。今後も計画的な整備を行い、災害活動拠点施設としての機能維持に努めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-280-3230
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	予防課
組織の目的	住宅用火災警報器の維持管理や事業所における適正な防火管理を推進するとともに、火災原因の分析に基づく予防広報活動を積極的に行い、火災による被害の低減を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		市民の防火意識の高揚を図ります。	・TV放映や新聞掲載等の報道機関を活用した広報の実施 ・火災傾向や原因について分析し、対策等の情報発信	報道機関やSNS等を活用した効果的な広報の実施	—	—	実施	実施	実施		季節柄多発する火災や急増するリチウムイオン電池が起因する火災を抑制するため、報道機関向けに火災実験を行い、広報を実施しました。また、火災発生原因を分析し、傾向や対策をHPやLINEを用いて情報発信しました。	達成
2	1	火災による被害を低減します。	・リトルファイヤースクールの実施 ・高齢者家庭への住宅用火災警報器取付サポートの実施 ・民間事業者等と連携した住宅用火災警報器の設置・維持啓発活動	リトルファイヤースクール及び住宅用火災警報器取付サポートの実施	—	—	実施	実施	実施		市内106校のうち、105校の小学校でリトルファイヤースクールを実施しました。また、住宅用火災警報器の維持管理については、食品販売業等の民間企業と連携し、啓発活動を実施しました。	達成
3		事業所における防火管理体制の強化を図ります。	・消防法令に基づく立入検査の実施 ・違反対象物に対する文書指導の実施	立入検査実施数(件)	—	6,211	9,646	6,000	9,024		消防法令に基づく立入検査を9,024件実施し、違反対象物に対して文書による指導と改善に向け徹底した追跡調査を実施しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>市民の防火意識の高揚を図るには、テレビ放映や新聞掲載等の報道機関を活用した広報を実施するとともに、類似火災の未然防止のために、全国的な火災傾向と本市の火災原因を分析し情報を発信します。</p> <p>火災による被害の低減については、住宅用火災警報器の設置及び維持管理に関して、民間事業者等と連携した啓発活動を行うとともに、高齢者家庭を対象とした消防職員による取付サポートを実施します。また、小学生に対する防火教育のためにリトルファイヤースクールを実施します。事業所における防火管理体制の強化を図るため、飲食店や工場などの防火対象物へ定期に立入検査を実施するとともに、消防法令違反の認められる事業所に対して文書指導を実施し、違反是正を推進します。</p>	<p>市民の防火意識の高揚を図るため、火災原因の上位にある電気関係、こんろ、たばこ火災等の発生要因や、春や秋に多発する枯草火災の拡大する危険性を実験で再現し、報道機関を活用して注意を呼び掛ける映像を発信するとともに、天気予報に重ねた消防のPR動画を放映した火災予防広報を実施しました。</p> <p>火災による被害を低減するための取り組みである、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の啓発については、民間事業者と協働し、あらゆる機会をとりえリーフレット配布等による広報を行いました。また、小学生を対象としたリトルファイヤースクールは、授業を希望する市内106校のうち、105校で実施したほか、GIGAスクール構想で小学生が使用するタブレットに電子版「消防のしごと」をデジタル教材としてインストールして授業する取り組みを行いました。引き続き、各小学校と連携し、消防教育を推進します。</p> <p>事業所における防火管理体制の強化を図るため、立入検査で覚知した軽微な違反に対しては即時に是正させるとともに、消防法令違反の認められる事業所に対しては、文書による指導及び追跡調査を徹底し、違反是正を推進しました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-288-3240

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	危険物保安課
組織の目的	法令に基づく規制事務や立入検査などを通じ、危険物施設及び保安関係施設に係る事故防止と火災による被害の低減を図り、市民の安心・安全を確保します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目録達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		事故を防止します。	・関係団体と連携した事故防止研修会の実施 ・メディアなどを活用した広報の実施	事故防止対策等の研修会及び効果的な情報発信	—	—	—	実施	適宜実施	・総合的に判断	・危険物安全協会新潟地区支会等と連携した事故防止研修会の実施及び新聞、テレビなどのメディアを活用し、時季を逸せず効果的な情報発信を行い事故防止を図りました。	達成
2	1	火災による被害を低減します。	・石油コンビナート区域の事業所への保安体制指導の実施 ・石油コンビナート区域共同防災組織の消火活動指導の実施	保安体制及び消火活動の指導	—	—	—	実施	適宜実施	・石油コンビナート区域の事業所(16事業所) ・石油コンビナート区域共同防災組織(2組織)	・石油コンビナート区域の事業所及び共同防災組織に対し適切な指導の実施により災害に対する保安体制強化並びに消火活動能力強化が図れました。	達成
3		法令違反を是正します。	・違反施設に対する文書指導及び追跡調査の実施	違反施設に対する追跡調査	—	—	—	毎月実施	毎月実施		・危険物及び保安関係施設の法令違反に対して、継続的に追跡調査及び指導を行い、違反是正を図ることができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>事故防止については、関係団体と連携した研修会を実施し、事故の未然防止を図ります。また、市民に対してはテレビ、新聞、SNSなどを活用した広報を行い事故防止への注意喚起に努めます。</p> <p>火災による被害の低減については、事故が発生すると被害が拡大し社会的影響が大きい石油コンビナート区域の事業所へ保安体制及び消火活動の指導を実施します。</p> <p>法令違反の是正については、文書指導及び追跡調査を行い違反是正の徹底を図ります。</p>	<p>危険物事業所に対して、危険物安全協会新潟地区支会及び石油コンビナート等特別防災区域の共同防災協議会と連携して事故防止研修会を開催するなど、事故防止の啓発に努め、市民に対しては、テレビ、新聞などメディアを活用し、ガソリンの取り扱い、園児に対してのおもちゃ花火の取扱いなど分かりやすい広報を実施してきましたが、重大事故の発生はなかったものの、事故件数は増加となったことから、今後も事故防止指導を継続して実施します。</p> <p>石油コンビナート等特別防災区域の事業所に対する立入検査での保安体制の確認と指導の実施、併せて共同防災組織に対して訓練及び研修の機会をとらえ、消火活動の指導を行うことで災害対応力の強化を図ることができたことから、今後も保安体制の維持、さらに強化できるよう指導を継続します。</p> <p>また、危険物保安関係施設の違反に対して、継続した調査、指導を行い是正を図ることができたことから、引き続き適正な立入検査の実施及び是正指導を行っていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-288-3250

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	警防課
組織の目的	社会構造や消防需要の変化に適切に対処しながら、様々な災害事案の発生に備え、災害対応力を着実に強化します。 また、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1	3	地震等の大規模災害へ備えま ず。	<ul style="list-style-type: none"> ・警防活動指針に基づく消防戦術の徹底 ・新任中隊長研修の実施 ・中隊長研修の実施 ・小隊長研修の実施 ・地震災害対応訓練の実施 ・石油コンビナート災害対応訓練の実施 ・航空機災害対応訓練 ・BC災害対応訓練 ・警察、海上保安本部との合同訓練 ・ドローン運用体制の強化 	総合的に判断	-	-	-	-	-	-	地震災害対応訓練、特殊災害対応訓練、関係機関との合同訓練などにより事前対策を徹底するとともに、ドローンの運用体制を整備し、大規模災害時における情報収集力の強化を図りました。 中隊長や小隊長への研修により部隊指揮能力の向上を図るとともに、警防活動指針の習熟や火災現場活動評価により消防部隊の強化を図りました。	達成
2		消防機械器具操作技術の伝承 を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・運転技能評価の実施 ・ポンプ運用技能評価の実施 	総合的に判断	-	-	-	-	-	-	対象職員450名が運転技能評価・ポンプ運用技能評価に基づく基本訓練を実施しました。 若手職員を対象とした消防車両等構造操作講習会を開催し、消防機械器具の基本知識及び技術の向上に取り組みました。	達成
		消防団の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防演習の実施 ・消防職団員の連携訓練の実施 ・新入団員教育の徹底 ・メディアを活用した入団促進及び消防団PRの実施 ・消防団員による自主防災訓練指導、応急手当指導及び防火広報の実施 ・女性消防団員による幼児防火教育 	総合的に判断	-	-	-	-	-	-	新潟市消防団消防総合訓練をはじめ、消防演習や消防職団員の連携訓練により、消防団の災害対応力の強化を図りました。 「ちびっこ消防団」や「消防フェスタ119」等の各種イベントにおいて積極的に入団促進を図ったほか、メディアを活用することで広く消防団PRに取り組みました。 自主防災訓練、応急手当指導や幼児防火教育については年間を通じて継続して実施し、地域に密着した活動を推進しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地震等の大規模災害への備えについては、地震や風水害等の自然災害をはじめ、テロ災害等の特殊災害の発生に備え、対応計画や訓練等の事前対策を充実するとともに、ドローン運用体制の強化を図ります。また、火災発生時には、1棟1戸での延焼阻止を主眼とした火災防ぎょ活動を徹底し、その取り組みとして「警防活動指針の習熟」、「火災現場活動評価」による分析をはじめ、各種研修や訓練を行い、現場指揮体制及び消防部隊の一層強化を図ります。</p> <p>消防機械器具操作技術の伝承については、大量退職期の進展及び火災件数の減少により職員の現場経験不足が危惧されていることから「運転技能及びポンプ運用技能評価」及び「消防車両等構造操作講習会」による基本技術の習熟に努め、職員の育成強化を図ります。</p> <p>消防団の充実強化については、消防団は、平時の火災はもとより、地震等の大規模災害に対し、地域防災の中核として活動することから、消防演習や消防職団員の連携訓練、新入団員教育などにより災害対応力の強化を図ります。また、全国的に減少傾向にある消防団員の確保のため、メディアを活用した入団促進や消防団のPRを実施するほか、地域防災力向上のため、消防団員による自主防災訓練への積極的な参加指導や女性消防団員による幼児防火教育などを通じて、より地域に密着した活動を推進します。</p>	<p>地震等の大規模災害への備えについては、警防活動指針の習熟や実践的な訓練、研修等による人材育成に取り組み、現場指揮体制及び消防部隊の一層強化を図りました。今後も、対応計画や各種訓練等の事前対策の充実に向け、災害対応力の向上を図ります。</p> <p>消防機械器具操作技術の伝承については、運転技能評価及びポンプ運用技能評価の実施、消防車両等構造操作講習会の開催により、各機関員の技術向上を図りました。今後も継続して実施することで、基本技術の習熟に努め、職員の育成強化を図ります。</p> <p>消防団の充実強化については、新型コロナウイルス感染症防止を徹底しながら、新潟市消防団消防総合訓練をはじめとする各種訓練により、災害対応力の強化を図りました。また、メディアを活用し消防団活動をPRするとともに各種イベントに参画し入団促進を図ったほか、自主防災訓練や応急手当指導により地域と連携・密着した活動を推進しました。今後も消防団による地域に密着した活動を展開し、地域の安心・安全に努めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 消防局救急課(025-288-3260)

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	救急課
組織の目的	救命率の向上を図るため、市民・消防・医療による救命の連鎖を推進します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1	2	救命率の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の普及啓発 ・ドクターカーの運用 ・救急救命士の養成 ・救急救命士の再教育 ・消防隊と救急隊の連携活動 	社会復帰率(%)	15	13	10.8	10.8	12.2	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が目撃した心臓が原因の心肺停止のうち、心肺停止前と同等の生活を送れるようになった傷病者の割合。 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年の政令市平均値:10% 	社会復帰率は12.2%となり、目標を達成しました。(令和4年2月末現在)	達成
2		「にいがた救命サポーター制度」について協力事業所数の増加を図ります。	「にいがた救命サポーター制度」の広報	協力事業所数(件)	1,522	1,540	1,742	1,850	1,927	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月から、市内の各事業所に設置してあるAEDを有効活用するため開始した制度。 	協力事業所数は1,927件となり、目標を達成しました。(令和4年2月末現在)	達成
3		救急需要対策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「救急医療電話相談(#7119)」、 「小児救急医療電話相談(#8000)、救急受診アプリ(Q助)」の広報 ・予防救急に関する広報 	総合的に判断	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体の活用及び市関係部局と連携し、年間を通じて救急車の適正利用や予防救急について広報を実施しました。 	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>救命率の向上については、応急手当講習会の開催や応急手当の必要性のPRなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のもと、あらゆる機会を捉えて普及啓発を図ります。また、救急救命士の計画的な養成・再教育とドクターカーの効果的な運用とともに、市関係部局と連携し、救急搬送の更なる受入改善を図ります。</p> <p>「にいがた救命サポーター制度」については、各消防署と連携のもと救命効果等を広報し、協力事業所数の増加を図ります。</p> <p>救急需要対策の推進については、「救急医療電話相談(#7119)」、「小児救急医療電話相談(#8000)」、「救急受診アプリ(Q助)」について広報し、救急車の適正利用を推進します。また、乳幼児・高齢者を不慮の事故から守るため、各種広報媒体を活用した広報を実施するとともに、市関係部局と連携し、予防救急を推進します。</p>	<p>救命率の向上については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い、応急手当講習会を開催しバイスタンダーを養成しました。</p> <p>「にいがた救命サポーター制度」については、各消防署と連携し協力事業所数の増加に繋げるとともに、実際の運用についても協力事業所と適切に連携しました。今後も応急手当講習会の開催によりバイスタンダーの養成を継続するとともに、にいがた救命サポーター協力事業所との連携を図り、市民との協働による救命の連鎖を推進します。</p> <p>救急需要対策の推進については、各種広報媒体の活用や市関係部局との連携に加え、市公式LINEといったデジタル媒体を活用し、救急医療電話相談や救急受診アプリの周知、乳幼児・高齢者に対する不慮の事故防止について啓発しました。</p> <p>今後も市関係部局と連携を行いながら、デジタルを含む各種広報媒体を活用し、救急車の適正利用や予防救急について市民への周知を図ります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-288-3270

年度	令和4年度		
組織名(部)	消防局	組織名(準部・課・機関名)	指令課
組織の目的	各種災害通報に的確に対応するとともに、消防指令管制センター、消防救急デジタル無線を効果的に機能させ、現場活動部隊との情報通信体制を強固にすることで災害対応力の充実強化を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		災害対応力の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 模擬通報カード等を活用した消防指令管制センター運用訓練の実施 消防署と連携した無線運用訓練の実施 にいがた救命サポーター制度、ドクターヘリ運用訓練の実施 新型コロナウイルス感染拡大時に備えた業務継続体制の確保 	消防指令管制センター運用訓練(回)	20	37	37	37	39		計画的に各種訓練を行い目標を達成しました。	達成
2	2	救命率の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 口頭指導検証要領を作成し検証体制を強化 救急救命士による救急指導の実施 応急手当講習会における口頭指導の検証を実施 	総合的に判断	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 口頭指導とは、119番受信時に通報者等に対して口頭で応急手当の協力を要請すること。 	訓練や検証を通して経験を積み、効果的な口頭指導につなげることができました。	達成
3		Net119緊急通報システムの効率的な活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> Net119緊急通報システムの県内共同運用の実施 Net119緊急通報システムの普及啓発のため広報を実施 	総合的に判断	-	-	-	-	-	-	事前準備や行程管理を適切に行い、県内共同運用を開始しました。 また、普及啓発のため関係機関の説明会に参加し広報活動を行いました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>災害対応力の強化については、実践的な訓練を通じて消防指令管制センターを効果的に機能させ、地震等の大規模災害時にも安定した運用ができるよう強化を図ります。また、引き続き新型コロナウイルス感染拡大時においても安定して人員を確保できるよう業務継続体制を確立します。</p> <p>救命率の向上については、心肺停止など切迫した救急要請に対応するため口頭指導体制の充実強化を図ります。</p> <p>Net119緊急通報システムの効率的な活用については、新潟市を含む県内17消防本部での共同運用を7月に控えており、これに向けた事前準備や行程管理を適切に行い、円滑に運用開始できるよう努めます。更に登録促進のため、これまでと同様に積極的な広報活動を行い対象者への周知を図ります。</p>	<p>災害対応力の充実強化については、実践的な訓練を計画的に行い各々の能力向上に努め目標を達成したほか、新型コロナウイルスの影響についても最小限に抑え業務継続に支障はありませんでした。</p> <p>救命率の向上については、日頃の訓練のほか、口頭指導体制を充実強化するため検証要領を新たに作成し目標達成に寄与しました。</p> <p>Net119緊急通報システムの効率的な活用については、県内17本部での共同運用を7月から開始し目標を達成しました。</p> <p>来年度についても、情報通信体制の強化を通じて災害対応力の更なる充実に向けて取り組みます。</p>